

「男と女」性差

男と女は、なぜ分かり合えないの？

東京サロン NO 22

神さまは、男と女を作りました。ただし、生物学的には、卵子と精子の受精により、男と女が持つ「遺伝子」情報を携えた「性染色体」の、XXが女性。XYが男性となります。受精後6か月後には、それははっきりとした形となって表れます。そして、その後はホルモンにより、女性は女性ホルモンにより女らしく。男は男性ホルモンにより男らしくなる・・・ということですが・・・

現代社会は、新しい性のあり方、ジェンダー問題、同性婚、男女差別、女性には「子供を産まない自由がある」等、まさに問題山積のように見えます。今回は、皆さんの男性観、女性観、また現在問題になっている悪意なき「無意識の偏見（差別）」。

いまだ根強く残る「封建制」「家長制度」、また世界を見渡せば、驚くべき男女差別がまかり通っております。今回は、あなたが身近に感じる男と女の性差。体験した女性差別、「男と女の違い」等。大いに議論し学びあいたいと思います。

テーマ1 新人類10万年前からの、男と女の性差は、どのような変遷を遂げてきたのでしょうか。日本の「縄文時代」は、争いのない時代。女性中心の大家族と平等な社会、まさに女性が活躍していた時代でした。

テーマ2 ある議員が、子供を産まない女性を「生産性がない」と発言しました。また、男性の深刻な草食化がすすみ、少子化問題も深刻な状況です。

テーマ3 分かり合えない男と女。3組に一組が離婚する日本の現状残された多くの子供たち。自己中心社会。愛なき社会に子供たちの未来はあるのか

1. 日時： 2024年6月10日（月） PM 1：30～
2. 会場： 大田区「消費者生活センター」 2階集会所
3. 講師 鈴木丈子氏
4. テーマ 「男と女の性差」
5. 会費 200円
6. 連絡先 ハルタ 090-1760-7628